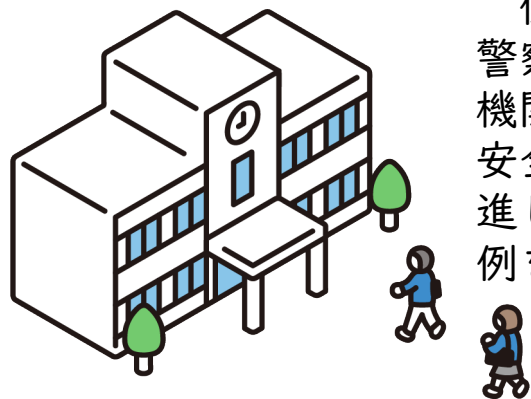


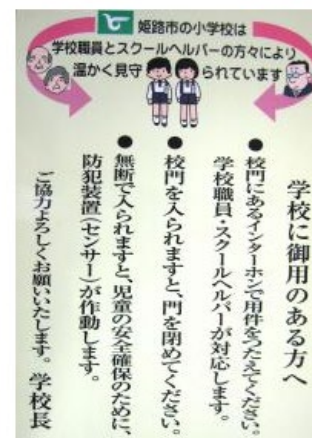
安全な学校づくり



保護者、地域住民、警察などの関係（者）機関との連携を図って安全な学校づくりを推進している全国の好事例を紹介します。

地域ボランティアによる見守り ～兵庫県姫路市スクールヘルパー制度～

各学校や地域の実情に合わせ、保護者や地域の皆さんが「学校安全ボランティア」として、校門での立ち番や校内巡回、インターホン等への対応など、児童を守り、安全で楽しく、より開かれた学校となるよう、組織的な取組を行っている。



不審者に言い訳をさせない来校者対策 ～神奈川県藤沢市来校者誘導ライン～

来校者誘導ラインは、来校者の受付への誘導と同時に不審者の「受付に行こうとして道に迷ってしまった」という言い訳を防ぐ目的で描かれています。万が一、来校者を装い校門から入っても、ラインから外れるだけで、それを不審な行動として、子どもでも判断出来るように工夫されています。市内55校全てに、校門から校舎玄関まで目立つオレンジ色で描かれています。



学校敷地内へ警ら箱の設置 ～岡山県倉敷警察署～

警ら箱は交番や駐在所の署員がパトロールで訪れる巡回場所を示すものです。倉敷署では、管内の全ての小学校に設置されています。

